

クラウドトランスフォーメーションに不可欠なアクセス管理

タレス アクセス管理インデックス2019

「タレス アクセス管理インデックス 2019」は、IT およびデータセキュリティに関して責任を担う、または影響力を有する世界 11 か国 1,050 名の経営幹部を対象に調査を実施、その結果をまとめたものです。タレスがスポンサーとなり、Vanson Bourne 社が調査、報告、分析を行いました。

サイバー攻撃の標的となるクラウドサービス



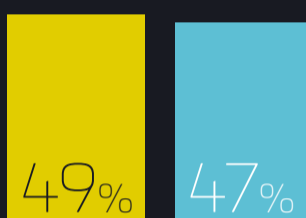
49%

クラウドアプリケーションはサイバー攻撃の最大の標的だと信じている

主要なアクセス管理テクノロジー

58%

クラウドベースやWebベースのアプリケーションを保護する最も有効なアクセス管理ツールは二要素認証であると信じている



また、49%がスマートシングルサインオン、47%が生体認証が有効だと考えている

データ漏洩によりアクセス管理の採用が加速



94%

企業のセキュリティポリシーが過去12か月の間に消費者の情報漏洩によって影響を受けている



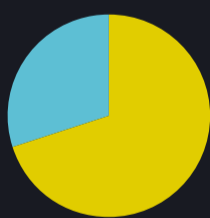
62%

サイバーセキュリティに対する意識が高まっているにもかかわらず、CISOを置かずに事業を継続している

クラウドトランスフォーメーションに不可欠なアクセス管理



36% スマートSSOを利用している



70% 二要素認証を利用している



53% SSOを利用している



97%

クラウドアプリケーション用のクラウドアクセス管理がクラウド導入を促進すると述べている



95%

効果のないクラウドアクセス管理が組織に問題を引き起こす可能性がある、または実際に引き起こすと考えている

フォロー:

